

伝えよう、「和食」文化を。
和食が育む、日本人の味覚と食文化シンポジウム



本シンポジウムは、
平成25年12月4日にユネスコ無形文化遺産登録された、「和食;日本人の伝統的な食文化」を
次の世代に維持・継承していくことの大切さについて
考えることを目的として、全国各地にて開催いたします。

第二回
福井県

- 定員 200名(事前申込制・参加費無料)※先着順
- 日時 平成27年10月18日(日)
13:30~16:30(予定)
- 会場 福井県産業情報センター
(坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16ソフトパークふくい内)

第二回 福井県「地域で育まれる和食」

第二回は、日本各地で積極的な食文化の教育プロジェクトが生まれる中、
トップランナーとして注目される福井の取り組みや、学校給食の重要性と食育について考えます。

挨拶	農林水産省
トークセッション	「食育発祥の地福井の魅力」 西川 一誠氏(福井県知事) 服部 幸應氏(服部学園理事長、日本食育インストラクター協会理事長、和食文化国民会議理事) 進士 五十八氏(東京農業大学名誉教授、元学長、福井県里山里海湖研究所所長)
基調講演	服部 幸應氏「和食の食育力のすすめ」服部学園理事長、日本食育インストラクター協会理事長、和食文化国民会議理事
事例発表	藤本 勇二氏「地域で学ぶ、和食の授業のすすめ」武庫川女子大学専任講師、 今後の学校における食育の在り方に関する有識者会議委員 堀川 清治氏「子どもたちが学ぶ福井の農業体験」農事組合法人 上江ファーム代表理事 園部 晋吾氏「和食を通して子どもたちに伝えたいこと」山ばな平八茶屋21代目若主人、日本料理アカデミー地域食育委員長
パネルディスカッション	「地域で育まれる和食」 コーディネーター:山口 靖氏 (農林水産省食料産業局 食品小売サービス課 外食産業室長、ミラノ万博日本政府副代表) パネリスト:服部 幸應氏、藤本 勇二氏、堀川 清治氏、園部 晋吾氏

応募方法 募集人数:200名 締切:10月14日(水)24時まで ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

FAX 03-5226-9929

HP <http://www.yomiuri-ag.co.jp/symposium2015/>

※先着200名様には、順次招待状を記載いただいたFAXまたはメールアドレスにお送りします。当日必ずお持ちください。
※お預かりした個人情報は、本シンポジウムのために利用させていただきます。
※万一お申し込み登録完了後も受付確認のご連絡が届かない、招待状を紛失した等ありましたら事務局までお問い合わせください。



※発表内容は変更となる場合があります。ご了承ください。

主催:農林水産省 共催:福井県
後援:一般社団法人和食文化国民会議

お問い合わせ:読売エージェンシー 和食が育む、日本人の味覚と食文化シンポジウム事務局
03-5226-9908 (平日10時~17時)